

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1、子ども達の健康を守るための乳幼児健診や予防接種の充実について</p> <p><b>【質問趣旨】</b> 乳幼児健康診査や予防接種は、乳幼児の健康を守るため、成長や栄養状態を確認するだけではなく、保護者の悩み相談の機会ともなっております。本市の乳幼児健診は、母子保健法で定められている1歳6か月健診および3歳健診の他、市独自で産院で受ける1か月健診、保健センターで受ける3か月健診、6か月健康相談が行われている。</p> <p>子どもの成長のために健診や予防接種は大切であるが、幼い子を連れて外出すること、0歳から1歳で受ける予防接種の回数は20回程度となってお</p>	<p>(1) 乳幼児健診の充実に向けて</p>	<p>① 本市での健診の受診率は、3か月健診、6か月健康相談、1歳半健診、3歳健診とどれも95%ほどとなっているが、受診率に対しての評価と、受診されていない方へどのように対応されているのか伺う。</p> <p>② 健診内容の一つである集団指導では、栄養士さんによる離乳食の講話が実施されている。ほとんどの乳幼児家庭が参加する健診の機会を利用し、ヘルメットやチャイルドシートの着用、スマホ育児による子どもへの影響、乳幼児家庭への防災啓発など、有効に活用することが乳幼児健診の充実になると考えるが、本市の見解を伺う。</p> <p>③ 健診時間は、混雑緩和のため時間帯を2つに分けて案内しているが、健診にかかる時間は、待ち時間を含めるとおおよそ2時間弱となっている。幼い子を連れて長時間の健診が大変だという声が挙がっているが、その声に対してどのように検討されたか伺う。</p> <p>④ 各健診ごとに月2回実施され、医師の診察がある健診は平日午後、健康相談は平日午前となっている。時間設定が午睡の時間と重なっている事や、平日仕事をしている方は休みを取得する必要がある、保護者が負担に感じている事について、何か対応策を考える必要があると思うが市の見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>り、時期や回数、期間などのスケジュールの管理、予診票の準備が負担となっている。また、ライフワークバランスを充実させることにより、保護者の負担を軽減する事が必要だと考え、本市の見解を伺う。</p>	<p>(2) 予防接種の現在の接種率や今後の体制について</p>	<p>① 乳幼児期に受ける定期接種の接種率は8～9割を超えている中、追加接種の接種率は下がっているが、未接種分へはどのような対応をされているか伺う。</p> <p>② 就学時健診で調査されている「定期接種を全て終了している方」は、令和3年度69.7%だが、結果についてどのように評価されているのか伺う。</p> <p>③ BCGは現在集団接種だが、市民の皆さまの要望や他市町は個別接種へ移行していることから、本市においても令和6年4月より個別接種へ移行すると聞いている。個別接種へ移行する際のメリットと起こりうる課題を予測できているのか伺う。</p> <p>④ ロタウイルスの予防接種は令和2年10月より任意接種から定期接種となり、令和2年32.2%、令和3年95.9%となったが、金銭的な負担がなくなったことにより接種率が格段に上がったことが推測できる。現在、母子手帳に記載されているワクチンの中でおたふくかぜとインフルエンザが任意接種となっている。助成があると接種率が上がる事が予見でき、感染を未然に防ぐことができるがこの2つの予防接種の助成に対して本市の見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 子育てのためのライフ・ワーク・バランスの取組について	<p>⑤ 予防接種の案内は、接種時期が近づくと予診票を同封し郵送での個別通知となっている。また、20 回ほどの接種となる予防接種の予診票に毎回、住所・氏名・性別・生年月日・出生体重など同じ内容を何度も手書きで記入している。デジタル化として、令和7年度を目途に国の方針で統一的な基準に適したシステムの整備が検討されているが、移行するまでの間は、何か対応を考えているか、またスムーズに移行するために何か準備をされているのか伺う。</p> <p>⑥ 予防接種の接種時期や回数などがそれぞれ違っている中で、打ち忘れを防ぐことやスケジュール管理の負担軽減のために、以前は予防接種ナビがあったが、今はサービス終了している。現在、行政の支援策として他に何か対策されているのか伺う。</p> <p>① 本市では、ライフワークの調和を推進し性別に関わらず誰もが働きやすい職場環境づくりの具体的取組をされる企業へ「ライフ・ワーク・バランス推進宣言」登録の施策がある。現在登録企業は35社(R5.9.1現在)だが、ライフワークバランスを促進していくためには、登録企業を増やしていく事が必要だと考えるが市内事業者に向けてどのようなアプローチをしてきたか伺う。</p> <p>② 乳幼児期では健診や予防接種、学齢期ではインフルエンザ等での学級閉鎖など、子育て中の保護者は休暇を取得する事が多くある。ライフワークバランスの一環として、従業員が育児に関する休暇を取得することに企業が前向きに取り組むためにも、企業向けに市独自で助成金制度を創設したらどうかと考えるが市の見解を伺う。</p>

( 3 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。